アルメックニュース

Vol.9

祝 アルメック㈱50周年記念誌 ～おかげさまの50年～

21.8.17発行

代表取締役会長
星河　勲男

この50年を振り返ると、3つの節目がありました。一つ目は、1968年(昭和43年)有限会社星河商店の設立です。

創業当初の10年間は、家族のみで仕事を行っていましたが、日本経済が少しずつ動き始めた頃でもあり、おかげさまで創業当初の10年間は、家族のみで仕事を行っていました。

会社設立を機に、工場の建設、当時としては加工処理能力の高い150馬力のプレスの設置を行うことにより、自社での加工から出荷までの体制が確立され、メーカーに納入できるようになりました。

二つ目は1995年(平成7年)11月の大府工場の開設です。

土地を探し始めました。1984年(昭和59年)から現・大府工場の土地を探し始めたのは、豊明工場の扱い量はピークに達しましたが、広い土地が必要でしたが、この土地との出会いは、1986年(昭和61年)で、実に9年歳月を要しました。

あきらめることなく、信念をもち、粘り強く交渉した。

三つ目は2008年(平成20年)8月1日の社名変更です。

50年間慣れ親しんだ社名を変えるということは、50年を一つの節目とし、新たに事業に取り組むこと、社名変更を宣言したことです。

メックは、アルメック株式会社へと社名変更をしてから、2年後の1986年(昭和61年)に株式会社設立を機に、工場の建設、当時としては加工処理能力の高い150馬力のプレスの設置を行うことにより、自社での加工から出荷までの体制が確立され、メーカーに納入できるようになりました。

今後は、ここまでしたことを単なる名称変更ではなく、文字に込めた思いを胸に、ARMECの社名変更に専念し、よりよいイメージを目指して、全社員が一丸となり一層皆様のご期待に沿えるよう、全社員が一丸となり一層皆様のご期待に沿えるよう、変わらぬご愛顧をお願い申しあげます。

代表取締役社長
星河　年男

思えばこの50年間、その節目ごとに時代の変化に柔軟に対応をして参りました。なかでも大きな出来事は、未来のアルメックを支える人財に焦点をあてたもので、2007年10月に2009年4月入社の新卒採用プロジェクトチームを発足したことです。実際の活動は2008年の2月の会社説明会からはじまりましたが、この採用活動の中で我が社は、“モノに限らず、あらゆる価値を再生し、社会に還元していく”というテーマのもと「活力再生工場」をキャッチフレーズに掲げました。

採用活動を通して、「熱心な学生を目の前にしたとき、会社の活力となる人財と出会いを考えると、イメージの膨らむ夢を託してもらえる社名が必要だ。」と強く感じたことを覚えています。

「50周年を迎えるにあたって、志新たにアルメックの株式会社への変更をしました。

我が社は今までこそ“リサイクル業界一昔前にはゴミや廃品回収や寄せ集めと言われました。

平成時代が移ると、これまでのような経済活動を見直すべく、3R(スリーアール)という取組が経済産業省でまとめられました。

Reduce(リデュース:再使用)、Reuse(リユース:再利用)、Recycle(リサイクル:再資源化)、Reject(リジェクト:廃棄物の発生抑制)に加えて、Respect(リスペクト:循環型社会という言葉もでてきました。

このころから循環型社会という言葉もでてきました。

サイクルビジネスとも言われるようになり、環境問題に関心が高まるにつれ、リサイクル業は、環境に近い業として増えてきました。

アルメックは、我が社の目指すべき社会的な役割を果たすべく、株式会社として創業50周年を迎えた今日、また、新たなスタートラインに立ちました。

人財は一人一人が喜び、今後とも社員一丸となって、パートナーとして永遠に存在し続けたいと思います。

8月21日 5カ年計画中間報告会

2009年1月25日にグランドアッピ豊田第1回振り返り総会で、部門毎の目標発表と、各部門長の中間報告を全員共有しました。

部門毎の目標達成に向けて、社員一人一人が自分の存在価値を考えなければならない。

最後に、部門毎に職場環境の向上に更に力を注ぎます。

アルメックは、新入社員教育を通じて、新しい人材の育成に取組みます。

8月25日 社内木鶏クラブ inアルメック

前回に続き、1人2名の経営者の見学会。

社内行事に取組む場の方々に、人材育成の交流をしてみたいと思います。

アルメックの素晴らしい社風を見て、検討ください。

楽しくて積極的にお話し下さい。

不用品はありませんか？

アルメックでは、従業員様の家庭から出てくる小型家電（パソコン・電子レンジなど）家具（スチール棚など）調理器具など不用品を会社に持ち寄りアルメックがイベントとして企業内回収を行っています。捨てるにも費用がかかる

☆★編集後記★☆

塚本
佐々木

梅雨が明けたと思ったら夏を味わう間もなく涼しげな風を感じ始めました。夏は何処へ…？これも温暖化が進んでいる証拠ですよね><温暖化を止める為にも”エコ”を心がけたいなと思います。皆さんの周りでは、どんなエコ活動していますか？

■スクラップ情報■

約半年にわたり緩やかに上昇し続けてまいりましたが、流石にここにきて調整局面入りとなり、下落して参りました。この調整がどこまで続くのかが問題ですが9月後半に大型連休が控えていること、秋から高炉の購入も予定されることから、期待も込めてそれほど大きくは下がらないのではと予想します。

《大府工場》
〒474-0001
大府市北崎町遠山143番地
TEL:0562-44-1159
FAX:0562-44-3789

《豊明工場》
〒470-1153
豊明市前後町三ツ谷1361
TEL:0562-97-7215
FAX:0562-97-8181

ブログやってます★